

## 第28回 富山市都市交通協議会 議事録

【日 時】 平成31年3月28日（木） 10:00～11:00

【場 所】 富山市役所8階 第3委員会室

【次 第】 1 開 会

2 会長挨拶

3 議 事

(1) 富山市地域公共交通網形成計画の修正について

(2) 路面電車南北接続（第2期）LRT整備計画の変更について

(3) 平成31年度都市・地域交通戦略推進事業（国庫補助）について

4 報 告

(1) 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の事業報告・事業評価

(2) 富山市地域公共交通網形成計画に係る平成31年度実施事業について

5 その他

6 閉 会

【出席者】 委員12名（敬称略）

所 属	職 名	氏 名	備 考
富山市	副市長	中村 健一	（会長）
福井大学大学院工学研究科	特命教授	川上 洋司	
富山商工会議所	専務理事	西岡 秀次	（代理出席） 理事・中小企業支援部長 西野 政行
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社	副支社長	大路 洋司	（代理出席） 交通企画室長 鹿野 剛史
富山地方鉄道株式会社	代表取締役社長	辻川 徹	
富山ライトレール株式会社	代表取締役社長	栗島 康夫	
あいの風とやま鉄道株式会社	代表取締役社長	日吉 敏幸	
国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局	支局長	広瀬 道弘	
国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所	所 長	福濱 方哉	（代理出席） 事業対策官 谷口 雄一
富山県 観光・交通・地域振興局 総合交通政策室	室 長	竹野 博和	（代理出席） 次長兼地域交通・新幹線政策課長 鈴木 邦夫
富山県 土木部	次 長	江幡 光博	（代理出席） 都市計画課 主幹 三鍋 輝夫
富山県警察本部 交通部 交通規制課	課 長	古川 秀治	

【議事録】

○会長挨拶 （中村会長挨拶）

○議事 1 富山市地域公共交通網形成計画の修正について

事務局 （資料 1・2 説明）

○議事 2 路面電車南北接続（第 2 期）LRT 整備計画の変更について

事務局 （資料 3・4 説明）

○議事 3 平成 31 年度都市・地域交通戦略推進事業（国庫補助）について

事務局 （資料 5 説明）

（質疑応答）

竹野委員（代理：鈴木次長兼地域交通・新幹線政策課長、富山県観光・交通・地域振興局総合交通政策室）

県では、公共交通の利用促進を目的としてバスロケーションシステムの導入を新年度予定しており、予算化したところです。富山市地域公共交通網形成計画の中に情報提供の項目があるので、このシステムを計画の中で具体的に位置づけるよう配慮してほしい。

中村会長 今年の 11 月からということなので具体化できているのであれば、バスロケーションシステムの関係者である県、富山地方鉄道(株)、市で協議の上、内容を修正してパブリックコメントにかけ、最終的に書面表決の際に委員の皆様を確認してはどうか。

事務局 ご指摘の通り、現時点である程度具体化できているので、関係者を確認の上、その内容を盛り込んで修正します。

中村会長 ただ今の 3 件の議事については、他にご意見はないようですので、バスロケーションシステムの修正をするということも含めて承認してよろしいか。

【異議なし】

中村会長 ご異議はないようですので、3 件の議事については承認されました。

○報告 1 平成30年度地域公共交通確保維持改善事業の事業報告・事業評価  
事務局 (資料6・7説明)

○報告 2 富山市地域公共交通網形成計画に係る平成31年度実施事業について  
事務局 (資料8説明)

(質疑応答)

竹野委員 (代理:鈴木次長兼地域交通・新幹線政策課長、富山県観光・交通・地域振興局総合交通政策室)

資料8の開発駅のパーク&ライド駐車場の整備について、県には公共交通の利用促進に資するパーク&ライド駐車場の整備に関する補助があります。予算には限りがありますので、どこまでご要望に沿えるか確約はできかねますが、またご相談いただきたい。

事務局 承知しました。

中村会長 他にご意見はないようですので、報告事項については、以上とさせていただきます。なお、せっかくの機会ですので、交通事業者の皆様から出席者名簿の順にご意見をいただけないでしょうか。

大路委員 (代理:鹿野交通企画室長、西日本旅客鉄道株式会社金沢支社)

北陸新幹線も開業から5年目に突入し、ご利用も堅調に推移しております。この先、2022年度末の敦賀開業に向けて引き続き努めてまいりますし、オペレーションとしましては、安全安定輸送の提供を引き続き努力してまいります。5周年に向けましては、富山県と協力して、観光キャンペーン等も引き続き提供していきます。さらに、いろいろな都市圏から、外国人も含めてご当地への誘客に努めます。もう一つ担わせていただいているJR高山線本線につきましても、ご利用が引き続き伸びているところであり、富山市と協力して、引き続き増便の実験をしていきます。

辻川委員 (富山地方鉄道株式会社)

今年の冬は昨年と比べて全く雪がなく、昨年は12月、1月、2月に足元が悪いということで大変多くご利用いただきましたが、今年は前年に比べてかなり定期外を中心に減少したという状況です。なお、年度を通じては、鉄道、軌道、バスともに前年を1~2%上回る見込みです。これも本協議会のいろいろな取り組みが少しずつ浸透してきている成果だと思います。4月になりますと学生さんを中心に新たな流れになっ

てきますので、引き続き注視していきます。来年度は消費税の改定もあるので、その辺もどのような影響があるか注視していきます。また、我々としては、本日協議したことを着実に進めていこうと思います。

粟島委員（富山ライトレール株式会社）

3月15日に、富山市が購入し、ライトレールが運行する新型車両の発表会が中村会長にも出席していただき開催されました。その前に、車両基地に車両が搬送されたわけですが、どこにも搬入される日や場所などを公表していなかったにも関わらず、いろいろなファンの方がカメラを持ってお越しになり、その中には平日の午前中にも関わらず制服を着た中学生がおり、声をかけてみると学校を早退してきたということでした。このようなコアなファンもいるということで、これも大事にしていきたいと思います。

日吉委員（あいの風とやま鉄道株式会社）

本年度の利用者数の動きを1月末までのデータでいうと、対前年比で全体として通勤・通学・定期外を含めて1.8%増えております。富山市内の駅は全て増加しており、その中でも特に増加しているのは富山駅で、これは駅周辺の専門学校や商業施設ができたということもあって増加しているのではないかと思います。2月は対前年比で大幅に増えており、これは新幹線やサンダーバードの乗り継ぎのようなケースが定期外として多いので、昨年サンダーバードが大雪で動かなかったことで利用者が減少していたことが影響しているのだと思います。なお、3月4日に駅の高架化が完了し、新幹線や高山本線との乗り継ぎが便利になるほか、路面電車の南北接続や高架下の商業施設の開発などで、今後は富山駅の利用者がますます増加していくのではないかと予想しています。また、富山県、富山市の協力を得て富山駅と東富山間の新駅開設や、東富山駅と呉羽駅の改札口の新設について、周辺の開発と合わせて進めていき、行政との連携の中で、さらに利用者増加につなげていきたいと思えます。

中村会長 4月から、まちづくりとやまは富山市民プラザと一本化して、より中心市街地の賑わい作りに注力していくため、まいどはやバスも富山市民プラザに引き継いで、引き続き運行していきます。今後はコンシェルジュを乗せて、お年寄りの転倒防止やサービス向上に努め、より強化した形で進めていきます。なお、最後になりますが、その他といたしまして、前回の協議会でご意見いただいたビッグデータと飛騨高山との連携について、事務局より説明があります。

## ○その他 その他の案件について

事務局 （資料「その他の案件について」説明）

中村会長 ビッグデータの分析については、富山市全体としても、センサーを  
おいてモニタリングをすることで、例えば、子供の通学の見守りやいろ  
いろなことに使えないかインフラを使ってチャレンジしていこうとして取  
組みを進めているところです。今回は、交通ではこのようなことができる  
のではないかという整理をしております。今後も市全体や交通の分野  
のそれぞれで、こういったものに使えるのか、実際に使う際の課題とな  
る交通事業者との調整をどうするかについて、並行して検討を進めてい  
きたいと思います。

（閉 会）